

東洋陶磁学会 50 周年記念事業

大会3 「陶磁器研究のここが面白い！」

ポスターセッションと口頭発表

【日時】2024（令和6）年8月24日（土）9：30～16：30

【会場】下記の2会場でおこない、オンラインでつなぎます。

●東京会場：東京大学 本郷キャンパス内

●福岡会場：九州歴史資料館 研修室

【参加】2023年度の申込者は無料。他はホームページをご覧ください。

【主催】東洋陶磁学会、【共催】九州歴史資料館

※なお、九州歴史資料館では「特集展示：やきものはじめの一步3 文様」が開催中です。

特集展示は展示室一角を使用するミニ展示です。

【プログラム】

プログラム	東京会場	福岡会場
① 9：30～12：30 モデレーターによる講演(1人20分) ※東京と福岡はZOOM等でつなぎ、サテライト方式	演者： 森孝一（編集者・評論家） 北野珠子（東京芸術大学） 水山晶陽（株）藝品館） 秋岡礼子（NPO 法人 CUBIS） ※順不同	演者： 伊藤嘉章（東洋陶磁学会委員長） 野上健紀（長崎大学） 深海宗佑（深海商店） 庄村久喜（晩香齋） ※順不同
② 13：00～14：00 ポスターセッション コアタイム（交流の時間） ※ポスター自体は、時間中いつでも見られます。	東京会場へのポスター発表者が、各自のポスターの前にはいますので、自由に討議・交流を深めてください。 （*昼食は各位で適宜）	福岡会場へのポスター発表者が、各自のポスターの前にはいますので、自由に討議・交流を深めてください。 （*昼食は各位で適宜） *会場付近に飲食店はありません。
③ 14：00～15：30 モデレーターによるディスカッション・質疑応答 ※東京と福岡はZOOM等でつなぎ、サテライト方式	演者： 森孝一（編集者・評論家） 北野珠子（東京芸術大学） 水山晶陽（株）藝品館） 秋岡礼子（NPO 法人 CUBIS） ※順不同	演者： 伊藤嘉章（東洋陶磁学会委員長） 野上健紀（長崎大学） 深海宗佑（深海商店） 庄村久喜（晩香齋） ※順不同
④ 15：30～16：30 ポスターセッション コアタイム（交流の時間） ※ポスター自体は、時間中いつでも見られます。	東京会場へのポスター発表者が、各自のポスターの前にはいますので、自由に討議・交流を深めてください。	福岡会場へのポスター発表者が、各自のポスターの前にはいますので、自由に討議・交流を深めてください。

東洋陶磁学会は、2023年に学会設立50周年を迎えました。

この東洋陶磁学会の魅力の一つは、研究者だけではなく、作家や古美術商、一般の方など、幅広い方々に支えられていることです。それぞれの方々が陶磁器との何かしらの関係をもっていることになります。

そこで、50周年記念事業の大会3として「陶磁器研究のここが面白い！」をテーマに、ポスターセッションや口頭発表を通じて、陶磁器に関わる仕事や研究の面白さ、興味などについてディスカッションを行います。広く学会とその活動を社会に発信するとともに、これからの50年にむけて陶磁器に関わる人へのメッセージとしたいと考えています。

なお、名称は陶磁器研究としていますが、研究だけではなく作陶、趣味、興味などをポスターにしていなくても結構です。コロナ禍で十分に行えてこなかった会員同士の交流を増やすことで、学会を盛り上げていきたいと考えています。個人だけでなく、美術館・博物館等、団体会員についても、これを機にその活動や魅力をアピールし、互いに交流する場としてください。

*ただし、営利目的や個人に対する誹謗中傷に関する内容については固く禁じます。

【登壇者紹介】プログラムの登壇者については、2ページにあります。

【ポスターセッション】参加要領は、3ページをご参照ください。

東洋陶磁学会 50 周年記念事業 大会3 「陶磁器研究のここが面白い！」 口頭発表の8人のモデレーター紹介

*モデレーターのお話に興味がある方は、各モデレーターの参加会場にご注意ください。なお、会場をオンラインでつないで中継をしますのでどちらの会場でも、登壇者のお話は視聴することは可能です。
*会場の違いは、来場するモデレーターの違いと、各会場で張り出すポスターとポスターセッション参加者の違いです。
*ポスターセッションのコアタイムには、会場に貼るポスターの前にポスター作成者（参加者）が、みなさまとの質疑応答やディスカッションを共にします。

FUKUOKA

福岡会場（九州歴史資料館）に集まるモデレーター

野上 建紀
(のがみ たけのり)

長崎大学教授
専門は歴史考古学。著書『近世陶磁器貿易史』、『陶磁考古学入門』（以上、勁草書房）、『伊万里焼の生産流通史』（中央公論美術出版）など。



伊藤 嘉章
(いとう よしあき)

東洋陶磁学会常任委員長・愛知県陶磁美術館総長・町田市立博物館館長
専門は日本陶磁史。主な展覧会「世紀の祭典 万国博覧会の美術」「茶の湯」東京国立博物館、「工芸のいま 伝統と創造—九州・沖縄の作家たち」九州国立博物館 など。



深海 宗佑
(ふかみ そうすけ)

(株) 深海商店。
深海家13代目。東京のコンサルティング会社を経て、2021年から有田の窯業に携わる。
深海家は百婆仙の夫である深海宗伝の系統とであり、深見商店は同家の深海辰治（明治44年9月19日生）が作陶から業態を変え、陶磁器用絵具製造販売業を起こしたものである。有田の著名な絵具店のひとつ。



庄村 久喜
(しょうむら ひさき)

日本工芸会正会員
1974年 佐賀県有田町生まれ
2011年 第58回日本伝統工芸展 日本工芸会奨励賞
2014年 第49回西部伝統工芸展 朝日新聞社大賞
2022年 陶美展 日本陶芸美術協会大賞 その他多数受賞



TOKYO

あなたは、どちらの会場に参加しますか？

東京会場（東京大学・本郷キャンパス）に集まるモデレーター

森 孝一
(もり こういち)

公益社団法人 日本陶磁協会常任理事。雑誌『陶説』の編集を経て、現在、美術評論家、エッセイストとして活躍。編著に『陶芸家になるには』（ペリカン社）、『文士と骨董』（講談社）、『青山二郎の素顔』（里文出版）、『別冊太陽 六古窯を訪ねる - 瀬戸・常滑・越前・信楽・丹波・備前』（平凡社）など。

水山 晶陽
(みずやま まさたか)

(株) 藝品館代表・山中商会資料管理室長。1982年生まれ。京都出身。父親も骨董商である影響か、幼いころより古いものが好きだった。趣味は骨董の旅で、旅先でおいしいものを食べ、銘酒を楽しむこと。



北野 珠子
(きたの まりこ)

公益社団法人 日本陶磁協会常任理事。東京藝術大学大学院文化財保存学専攻。専門は文化財としての陶磁器保存修復。現在、興味をもって取り組んでいるのは、林忠正がセーヴル国立陶磁器美術館へ寄贈した日本陶磁器の背景調査と修復作業。



秋岡 礼子
(あきおか あやこ)

特定非営利活動法人 歴史・環境・まちづくり (NPO 法人 CUBIS) 主任調査研究員。専門は近世考古学。主な報告書『新宿区筑土八幡町遺跡』『新宿区荒木町遺跡II』『新宿区大京町東遺跡』『新宿区山吹町遺跡II』『新宿区四谷一丁目遺跡VII』など。



東洋陶磁学会 50 周年記念事業 大会3 「陶磁器研究のここが面白い！」 ポスターセッションへの発表の流れ

「陶磁器研究のここが面白い！」の趣旨にご賛同いただいたみなさま。
ご自身でもポスターを作成してポスターセッションで発表しません
か？会員の方は、どなたでもエントリーしていただけます。
ふるってご参加ください！！

* 東洋陶磁学会では、学会および学会員の発信の充実を考えています。将来的に皆さまからいただいたポスターの PDF の学会 HP へのアップも検討しています。賛同いただける方はお申し出下さい。

<ポスターセッションとは？>

○理系の学会では比較的ポピュラーな学会発表のスタイルのひとつです。

○発表者は大判のポスターを会場に掲示し、定められたコアタイムにはポスターの前に立ち、関心を持って集まってくる参加者に対し、ポスター内容の説明と質疑応答、ディスカッションを行います。

○このコアタイムこそ、ポスターセッションの意義であって、発表者と参加者は相互に自由に意見交換をすることができます。ポスター発表者はコアタイムにポスターの内容や、ご自身の考えについて短時間で来場者に説明できるようにご準備ください。

今回、東洋陶磁学会ではじめて、ポスターセッション（ポスター発表）を取り入れます。コロナ禍において十分に行えてこなかった会員どうしの研究交流やネットワークの構築など、さまざまな展開も期待します。

※会場内の掲示スペースに限りがあるため、最大枚数は 50 枚程度を予定しております。申し込みは先着順とし、申し込みの承認については、学会から申込者全員にメールでご連絡します。なお、ポスター掲示場所（東京または福岡）については、おおむねご希望に沿えるようにいたしますが、調整させていただく場合もございます。基本的には、会場にご来場できる方（コアタイムに参加できる方）の希望を優先します。

※ただし、営利目的や個人に対する誹謗中傷に関する内容については固く禁じます。

ポスターの例



発表イメージ



ポスターセッションのポスター発表参加者の大会までの流れ (視聴・ポスター見学のみのご参加は会場にそのままお越しください。)

※現時点の予定です。詳しくは、説明会・ホームページ等で周知します。

- ① 3月 : 事前説明会を視聴。※参加の必須要件ではありません。
- ② 3月～4月 : 学会ホームページ等で参加要領を確認。
- ③ 3月～5月 : 参加申し込み。※申し込み用の Google フォームを用意します。
※申し込みの時点ではまだポスターはできていなくて大丈夫です。
※会場調整のため、希望会場（福岡または東京）、ポスターの簡単な内容等を問うことがあります。
- ④ 6月あたまで : 学会からのポスターセッションへの申し込みの承認メールを確認。
- ⑤ 6月下旬 : ポスター発表者の題目公開（ホームページ等）
- ⑥ ～8月23日 : ポスター製作・出力（※参加者自身が、制作・出力して、当日持参します）。
※大判のプリントについては、キンコーズ等の出力サービスで行えます。なお、必ずしも、1枚でプリントする必要はありません。A1 サイズになるよう、小さな紙を貼り合わせていただいても問題はありません。また、手書きで作成していただいても構いません。
- ⑦ 8月24日 : ポスターセッション当日 直接ポスターを指定の会場に持ち込み・指定の場所に掲示ください。※時間、場所は、エントリー確定等の際に、学会よりご連絡いたします。
※基本的には、ポスターはご持参いただき、指定スペースに各自で掲示してください（画鋲やテープ等は事務局でも用意しますが、原則としてご持参ください）。また、大会終了後は、各自でポスターを撤去してください。当日の掲示・撤去の時間の仔細についても、エントリー確定時にご連絡いたします。
※東京と福岡での同日の開催で、会場へのお運びはどちらかになります。ご注意ください。